

防災拠点としての整備の例

東京都新宿区
新宿区立西新宿中学校

校舎新築	R4	6,179m ²
屋体新築	R1	962m ²
クラブハウス	R1	370m ²

この建物は、統合により新築したものである。
計画に当たり、生涯学習一学校開放、まちづくり一地域の核として、防災拠点一避難場所、以上の3点の要素を考慮している。
配置計画については校舎をコの字型とし、全体構成を3つのブロックに分け、南側を普通教室及び管理諸室棟、西側に屋内運動場棟、北側には特別教室棟を配置した。
特別教室棟は地震開放を考慮し、開放用の玄関を設けて学校との動線を区分けした。クラブハウス内には防災備蓄倉庫を配し、校舎には1000の防災本棚を、倉庫には災害時の備蓄トイレを建設し、災害時の一時避難場所としての機能にも配慮した。



南側を望む



オーブンスペース



中庭



1階平面図



3階平面図



2階平面図

京都市京都市
京都市立二条城北小学校
 校舎新増築 R 3 1,488㎡

この学校は、2校の統合校として、旧出水小学校の校舎を使用し、平成9年4月に開校した学校であり、統合を機に校舎の一部を増築したものである。
 計画にあたっては、衛生面の配慮から給食室にドライシステムを採用し、さらに、「防災スクールモデル事業」として非常用トイレを設置、災害時のトイレ用水を確保している。また、クリーンで無制限の太陽光エネルギーを利用した10KWの太陽光発電システムを設置し、ランチルーム・トイレを対象に災害(停電)時に備えての照明、給電設備、排水ポンプなどのための電力として利用するとともに、電力の一部供給を図る。また、省エネのための断熱材や再生材の採択を使用したり、快適な環境を促すため断熱材の積載などを整備した。



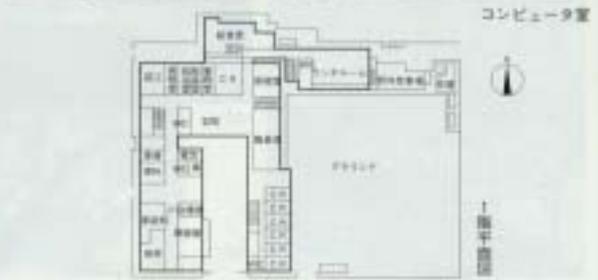
校舎新増築



コンピュータ室



野外交渉場



出典：「学校建築年報(公立学校編)平成9年度版」(文部省)

宮城県日向市
日向市立美々津中学校
 屋体新増築 R 2 1,338㎡
 クラブハウス R 2 220㎡



東部会館

鉄骨造の屋内体育館を、老朽化により改築。海岸に近いという自然条件及び短期集積の軽減を図る目的で、着色ステンレス鋼板葺きとし、玄関ホールに吹き抜けを設け、明るさと広がりを感じさせる空間を演出した。また、開放施設としての位置づけや、公共性の趣向施設となることを想定し、温水シャワー設備を設け、広い更衣室やミーティング室を設けるなど、地域への施設開放を促進する設備とした。



美々津ホール

出典：「学校建築年報(公立学校編)平成10年度版」(文部省)

東京都葛飾区
葛飾区立中之台小学校
 屋体改築 R 4 1,671㎡
 校舎整備



北園外観

昭和29年建設の鉄筋コンクリート造の屋内運動場を、必要面積不連続により改築した。児童がのびのびと学べる施設であるとともに、地域目が安らかに居住できる施設とすることに主眼を置いた。敷地を有効活用するため、プールを体育館の上に乗せる重層型とし、自動ドアやエレベーターを設けるなど人にやさしい設備、見守りにプールの水が溢れるよう、簡易浄水塔も設けた。広くなった校庭には、公園風の趣向を整備した。



アリーナ

20 - 14
 出典：「学校建築年報(公立学校編)平成10年度版」(文部省)